

玩具

大人のブロック「スプリング」

バネを組み合わせてオブジェを作ろう

精 密バネの老舗メーカーである五光発條の社長室に入ると、大小さまざま

なバネを組み合せながら村井秀敏社長がつくった、龍、鯛、カエルなどさまざまなおブジェが所狭しと並んでいる。やはりバネを組み合せたお手製の帽子をかぶった村井社長が語る。

「人件費の安い新興国の製品におされて厳しい状況が続き、何か高付加価値化が図れないかと考えてきました。そして、子どものころからブロックを組み立てるのが好きで、同じようにバネでいろいろなものができないか、試行錯誤しながら新しいバネの開発を進めるようになったのです」

その結果生まれたのが、専用のボディーパーツとジョイントパーツ。後者はバネの線材を、T字、Y字、L字などにして、前者をつ

なげていくものだ。ボディーパーツは両端が太い土管のような形をしており、ジョイントパーツに圧をかけることで外れにくくしている。そうした特殊なバネをつくれるのも、コンマ何ミリの高い技術力があるからこそなのだ。

村井社長が今年5月に都内で開催されたアートイベント「デザインフェスタ」にそれらの作品を出展したところ、「指先を使うことで老人の認知症の予防になる」「銀色をしたバネの光

沢や触感をファッショondeザインに生かしたい」と評判になった。

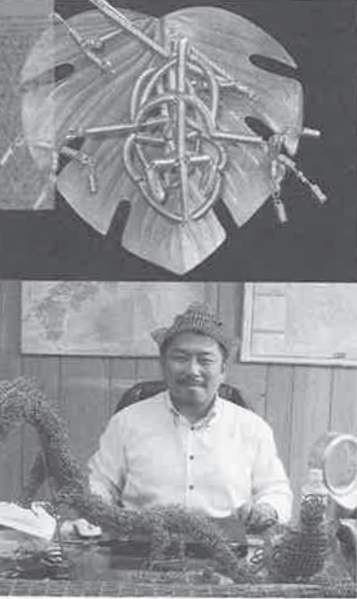
そこで確かな手ごたえを感じた村井社

長は、この10月から「Spring Link (スプリング)」という商品名で、「ねこ」(1500円)「カエル」(2400円)、「キューブペン立て」(2800円)のキットのネット販売を、自社のHP (www.gokospring.co.jp) を通してスタート。新聞やテレビで紹介されてきたこともあって、出足は順調だ。

「第2弾として名刺入れのキットも考えています。でも、一度作って楽しさを知った人は、自分の好きなものを作りたいと思い始めるはず。そこでボディーパーツとジョイントパーツを一袋にどっさり入れたお得パックも投入していけばと期待しています」

村井社長は同好の士が増えるのを心待ちにしている。今年のクリスマスプレゼントにいかがだろう。意外と贈った親のほうがハマってしまうかもしれない。

(文)伊藤博之



(上) いわばバネのブロック玩具だ
(下) 五光発條の村井社長

